

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [30339] 特異的IgE Jug r 1 (クルミ由来)
- [30340] 特異的IgE Ana o 3 (カシューナッツ由来)

受託開始日

- 平成30年11月20日(火)



特異的IgE Jug r 1・Ana o 3

特異的IgE検査では主に粗抽出抗原が用いられており、その中には様々なタンパク質が含まれています。粗抽出抗原の構成成分のうち特定の成分をアレルゲンコンポーネントと呼びますが、それらにはアレルギーの症状誘発に関連、あるいはアレルゲン特異的な成分が含まれており、それらを個々に検査することは、真のアレルギー起因物質を特定するのに有用とされています。

この度、弊社では下記2種類のアレルゲンコンポーネント検査の受託を開始致します。

●特異的IgE ^{ジャグ アール ワン} Jug r 1 (クルミ由来)

クルミに関してはWHO/IUISにJug r 1～8のコンポーネントが登録されており、その一つ「Jug r 1」は貯蔵タンパク質で2Sアルブミンに属し、重篤なアレルギー症状と関連すると報告されています。

●特異的IgE ^{アナ オー スリー} Ana o 3 (カシューナッツ由来)

カシューナッツに関してはWHO/IUISにAna o 1～3のコンポーネントが登録されており、その一つ「Ana o 3」はJug r 1と同様、2Sアルブミンに属し、重篤なアレルギー症状に関連すると報告されています。

ナッツを使用している食品は数多くあり、ナッツに含まれるこれらの2Sアルブミンの特徴は熱や消化に安定で、食品中の含有量は多いとされています。

クルミおよびカシューナッツアレルギーは小児のみならず成人にも発症することがあり、またアナフィラキシーによる重篤な病態に陥ることがあるため、確定診断に用いられる食物負荷試験には危険が伴います。しかし、Jug r 1およびAna o 3のコンポーネント検査結果は、食物負荷試験の安全実施の一指標となり、原因食物除去を必要最小限に止める一助となり得る可能性があります。

また、これらのコンポーネント検査は特異度が高いため、従来の粗抽出抗原を用いた検査と併用することで、より精度の高い診断に有用と考えられます。

検査要項

項目コード	30339	30340
検査項目名	特異的IgE Jug r 1 (クルミ由来)	特異的IgE Ana o 3 (カシューナッツ由来)
検体量/保存方法	血清 0.3mL / 冷蔵	
検査方法	FEIA	
基準値	0.35 U _A /mL 未満	
所要日数	2～3日	
検査実施料	各110点 ([D015] 血漿蛋白免疫学的検査「12」特異的IgE半定量・定量)	
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)	

参考文献

- R. Mew, et al. : Pediatric Allergy Immunol 27 (7) : 750-752, 2016.
L. Lange, et al. : Allergy 72 (4) : 598-603, 2017.
EAACI MOLECULAR ALLERGOLOGY USER' S GUIDE. 2016.